

令和4年度

事業報告書

自 令和4年 4月 1日

至 令和5年 3月31日

一般財団法人たかのす福祉公社

本事業報告は令和4年4月1日から令和5年3月31日までの期間を対象にしている。また、当期においては、令和3年度事業報告及び決算処理、公益目的支出計画実施報告等の重要手続きについては、滞りなく事務処理を進めることができた。

I 法人の概況

1 設立年月日：平成10年12月24日設立

(平成24年10月1日付、一般財団法人たかのす福祉公社として移行登記)

2 定款に定める目的及び事業

当法人は、ノーマライゼーションの理念に基づく豊かな地域社会の形成に寄与することを目的とし、北秋田市や各関係機関との連携を図り、自立した日常生活及び療養生活を営む上で支援を必要とする者の生活の質の向上と、地域における認知症ケア体制及び地域医療体制の充実を図るため、これに関する相談助言・情報提供事業、地域交流、調査研究事業及び介護技術等研修事業を行うとともに、次に定める各事業を実施する。

- (1) 介護従事者の育成に関する研修及び地域介護講座等の介護技術等研修事業
- (2) 医療、福祉、介護等に関する相談助言・情報提供事業及び地域交流事業
- (3) 食の自立支援事業（配食サービス事業）、要介護認定調査事業及び介護予防ケアマネジメント業務等の受託
- (4) 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業
- (5) 介護保険法及び健康保険法等に基づく介護・看護サービス事業
- (6) 介護用品貸与及び販売、弁当等の外販、保険外ヘルパーサービス等の有償福祉サービス事業
- (7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

3 所管官庁に関する事項 秋田県 健康福祉部 長寿社会課

4 はあとサポーター会員登録者数

会員区分	会員数
普通会員	91名 <-8名>
特別会員	1団体 <増減なし>

5 主たる事務所の状況

秋田県北秋田市大町8番23号

6 役員等に関する事項（理事3名、監事1名、評議員6名）

（令和5年3月31日現在）

役職	氏名	常勤・非常勤	担当職務・現職等
理事長	松橋雅子	非常勤	設計室主宰 建築士 会計責任者
常務理事	近藤 テイ子	常勤	フードセンターたかのす 施設長 法令遵守責任者（障害福祉）
理事	成田康子	非常勤	看護師 大学非常勤講師 福祉、医療に関する知識を有する者
監事	桜庭秀孝	非常勤	農業 元鷹巣町農業協同組合常務理事
評議員	佐々木孝夫	非常勤	元社会福祉法人役員 行政に関する知識を有する者
評議員	鈴木静子	非常勤	自営業 地域市民団体関係者
評議員	成田京子	非常勤	自営業 地域市民団体関係者
評議員	成田元晴	非常勤	農業、元病院事務局長 行政に関する知識を有する者
評議員	檜森正太	非常勤	会社役員 地域市民団体関係者
評議員	堀部健	非常勤	鍼灸師 保健医療に関する知識を有する者

7 職員に関する事項

（令和5年3月31日現在）

職員	身分	人数	増減
男性	正職員	5名	
	臨時職員等	1名	-1名
女性	正職員	9名	-1名
	臨時職員等	8名	+1名
合計		23名	-1名

8 許認可に関する事項

なし

II 事業の実施状況

【 実施（継続）事業について 】

介護従事者の育成に関する研修等及び地域介護講座等の介護技術等研修事業

地域介護講座は新型コロナウイルス感染拡大の防止のため、今年度も書面での研修方式に変更し、12月に実施をした。

なお、医療介護セミナーは諸般の事情により実施しないこととした。

(1) 地域介護講座について

テーマ 「介護保険外のヘルパー利用について」

書面配布先 : サービス利用者、はあとサポーター、町内会 各位

医療、福祉、介護等に関する相談助言・情報提供事業及び地域交流事業

相談助言・情報提供事業は「はあとだより」を令和4年8月に発行をした。内容は、理事長あいさつ、はあとガーデンの植栽の様子、サポーター会員の状況、寄付、寄贈の情報、各事業所の様子とし、地域の皆様やはあとサポーターの皆様に情報提供を行った。

地域交流事業は、はあとサポーターや地域の住民や近隣の方に参加していただき、令和4年6月に「はあとガーデン」の植栽を実施し、街の一角の緑化の推進、ならびに世代間交流の場を提供した。

【 障害福祉サービス事業について 】

食の自立支援事業（配食サービス事業の受託）の実施 「フードセンターたかのす」

（1）総合評価

地域包括支援センターや居宅介護支援事業所等との連携を図り、また、利用者一人ひとりの多様なニーズに対応することにより、配食サービスを提供することができた。今後も、関係機関との更なる連携強化により、利用者のニーズに応え、確保に努めていく。また、学校給食センターとの話し合い、情報共有を図り、衛生管理の徹底に努めた。

（2）事業の実績

- ・月別平均利用者数：27.7名 前年28.8名 <-1.1名>
- ・年間合計食数：10,167食 前年13,129食 <-2,962食>
- ・1日平均食数：28食 前年36食 <-8食>

就労継続支援B型事業の実施 「フードセンターたかのす」

（1）総合評価

北秋田市との指定管理者基本協定に基づき、適正な施設管理に努めた。

今年度は、新たに1名の通所開始、2名の退所があり、年度末の登録利用者は17名となった。今後も引き続き、利用者の能力に応じた作業の提供や通所利用者の安定的な人員確保に努めていく。

北秋田市や北秋田市自立支援協議会、北秋田市障害者生活支援センター等の関係機関との連携、情報共有を図り、今後も就労支援等に努めていく。また、配食サービスに係る作業のほか、弁当販売、ラーメン・まんまの受注販売等において、利用者の地域での活動機会を確保できた。

（2）事業の実績

令和5年3月31日現在 通所利用者登録数：17名（定員は20名）

（3）外部研修等

令和4年4月：秋田県社会就労センター協議会理事会

秋田県社会就労センター協議会総会・セミナー

- 5月：第三者委員会
秋田県障害者スポーツ協会総会
秋田県共同受注窓口拠点担当者会議
- 6月：秋田県社会就労センター協議会工賃向上セミナー
はあとガーデン植栽
- 7月：協力医によるアドバイス
秋田県地域福祉推進委員会
比内支援学校たかのす校進路後援会
全国社会就労センター長野大会
北秋田市障害児・者総合支援協議会就労支援部会
- 8月：セルフ協事業所見学会
秋田大学生体験実習
基幹相談支援センター主催研修会
- 9月：秋田県地域福祉推進委員会
第三者委員会
セルフ協商品・サービス紹介イベント
北秋田市障害児・者総合支援協議会就労支援部会
- 10月：秋田県農福連携セミナー（大館市）
秋田県農福連携セミナー（にかほ市）
秋田県社会福祉大会
- 11月：北秋田市障害児・者総合支援協議会就労支援部会
：秋田県農福連携フォーラム
- 12月：秋田県地域福祉推進委員会
虐待防止・権利擁護共通研修
苦情解決研修会 初級編
虐待防止・権利擁護施設研修
障害事業所受注拡大に係るネットワーク会議
- 令和5年 1月：北秋田市障害児・者総合支援協議会就労支援部会
障害福祉関係団体合同研修会
全国生産活動・就労支援部会職員研修会
秋田県地域福祉推進委員会
- 2月：虐待防止・権利擁護職員への伝達研修
比内支援学校たかのす校進路後援会
苦情解決研修会 上級編
全国社会就労センター長研修会
- 3月：第三者委員会
北秋田市障害児・者総合支援協議会
秋田県共同受注窓口拠点担当者会議
協力医講話

【 介護・看護サービス事業について 】

訪問看護事業の実施 「訪問看護ステーションはあと」

(1) 総合評価

主治医との連携強化が図れ、難病患者の受け入れと16名の終末期ケアを実施し、自宅にて7名の看取りとなった。

難病患者の連日訪問と頻回訪問は職員の学習力の向上と技術力の向上に繋がっている。

コロナウイルス感染者との濃厚接触者となった職員の健康被害はなかったが、訪問の調整を強いられた年度となった。

(2) 事業の実績

◎介護保険

- ・利用者延べ数：497名 前年528名（介護予防含む） <-31名>
- ・月別平均利用者数：41.4名 前年44名 <-2.6名>
- ・年間訪問延べ回数：2,520回 前年3,283回 <-762回>
- ・月別平均訪問延べ回数：210回 前年273.5回 <-63.5回>

◎健康保険等

- ・利用者延べ数：66名 前年73名 <-7名>
- ・月別平均利用者数：5.5名 前年6名 <-0.5名>
- ・年間訪問延べ回数：1,011回 前年736回 <+275回>
- ・月別平均訪問延べ回数：84.3回 前年61.3回 <+23回>

(3) 外部研修等

令和4年 7月：北秋田市地域医療連携センター運営協議会 1名

9月：北秋田市地域医療連携センター運営協議会 1名

12月：北秋田市自立支援型地域ケア会議 1名

令和5年 2月：北秋田市自立支援型地域ケア会議 1名

3月：北秋田市地域医療連携センター運営協議会 訪問看護部会・認知症部会
研修会 2名

居宅介護支援事業の実施 「居宅介護支援事業所はあと」

(1) 総合評価

職員応募はなく、組織内での介護支援専門員の資格を取得する職員もなく体制の強化は図れずに経過しているが、今後も厳しい状態であると予測される。

事業所職員の新型コロナやインフルエンザ感染があった為、体調管理や感染予防の強化を図ると共に職員不在時の対応ができるよう、職員間の情報交換や事業所間との連携が必要となると思われる。

介護支援専門員更新研修はオンラインにて参加となり、無事に1名が研修を終えることができた。

北秋田市居宅連絡会への参加を通して、地域包括支援センターや他の居宅介護支援事業所との情報交換や連携を図ることが出来ており次年度も継続していきたい。

(2) 事業の実績

- ・利用者延べ数 (介護給付) 782名 前年794名 <-12名>
(介護予防) 133名 前年165名 <-32名> ケアマネジメント含
(認定調査) 79名 前年81名 <-2名>
- ・月別平均利用者数 (介護給付) 65.1名 前年66.1名 <-1名>
(介護予防) 11.0名 前年13.7名 <-2.7名> ケアマネジメント含
(認定調査) 6.5名 前年6.7名 <-0.2名>

(3) 外部研修等

- 令和4年 9月: 介護支援専門員更新研修 (オンライン) 1名
- 令和5年 3月: 北秋田市地域医療連携センター運営協議会 訪問看護部会・認知症部会
合同研修会 2名

福祉用具貸与及び福祉用具、介護用品の販売事業の実施 「福祉用具レンタルセンターはあと」

(1) 総合評価

福祉用具貸与事業の年間の実績として新規利用契約者35名、利用終了者28名となる。
毎月の利用者数は最大月が7月で68名、最小月が12月で58名となる。
介護保険事業収入額はほぼ変わらず、前年度より80,000円ほどの増収となる。
販売事業収入については前年を下回る実績となる。

(2) 事業の実績

◎福祉用具貸与利用者

- ・利用者延べ数: 747名 前年750名 (介護予防含む) <-3名>
- ・月別平均利用者数: 62.3名 前年62.5名 <-0.2名>

◎福祉用具、介護用品の販売点数

- ・販売点数: 381点 前年584点 <-203点>
(うち特定福祉用具20点 前年21点 <-1点>)

(3) 外部研修等

なし

訪問介護事業の実施 「ヘルパーステーションはあと」

(1) 総合評価

利用者やその家族が、安心して在宅生活を継続することが出来るよう、支援を行い利用者主体でケアを提供することができた。

また、今年度はオンライン研修であったが、外部研修に参加し認知症に対する知識を深めることが出来た。

実績面では入退院や不安定な病状等によって、月により増減がみられた時もあり、安定した実

績にはならなかったため、今後は先を見越した形での新規利用者の獲得を行っていく必要がある。

(2) 事業の実績

- ・利用者延べ数：366名 前年305名（介護予防含む） <+61名>
- ・月別平均利用者数：30.5名 前年25名 <+5.5名>
- ・年間訪問延べ回数：5,296回 前年4,661回 <+635回>
- ・月別平均訪問延べ回数：411回 前年388回 <+53回>

(3) 外部研修等

令和5年 2月：令和4年度秋田県ホームヘルパー協議会研修会Ⅱ
「ホームヘルパーに求められる認知症の知識を深める」
オンライン研修4名

【 有償福祉サービスについて 】

介護用品貸与事業の実施 「福祉用具レンタルセンターはあと」

(1) 総合評価

介護保険外サービスとして、希望に応じて必要な福祉用具をレンタルし、軽度者や要介護認定を受けていない方の在宅生活を支援することができた。

新規契約者は8名、終了者は6名であった。

(2) 事業の実績

- ・利用者延べ数：94名 前年98名 <-4名>
- ・月別平均利用者数：7.8名 前年8.2名 <-0.4名>

ふとん消毒乾燥サービスの実施 「福祉用具レンタルセンターはあと」

(1) 総合評価

地域の住民が衛生的で快適な寝具を使用して生活ができるよう、布団、毛布、マットレス等を消毒乾燥するサービスを実施した。

(2) 事業の実績

- ・利用者延べ件数：9件 前年16件 <-7件>
- ・月別平均件数：0.8件 前年1.3件 <-0.5件>

弁当等の外販の実施 「フードセンターたかのす」

(1) 総合評価

「おとどけ・まんま」、「おたすけ・まんま」の販売に加えて、週2回の「にこにこ弁当」の当日販売や事前予約の「日替り弁当」の販売等については、目標とする販売実績を概ね達成した。その他、クリスマスチキン等受注販売等に積極的に取り組んだ。

(2) 事業の実績

◎おとどけまんま

- ・延べ提供数：5,707食 前年3,430食 <+2,277食>
- ・月別平均食数：476食 前年285.8食 <+190.2食>

◎日替り弁当

- ・延べ提供数：2,322食 前年1,810食 <+512食>
- ・月別平均食数：194食 前年150.8食 <+43.2食>

◎にこにこ弁当

- ・延べ提供数：2,491食 前年2,510食 <-19食>
- ・月別平均食数：208食 前年209.1食 <-1.1食>

保険外ヘルパーサービスの実施 「ヘルパーステーションはあと」

(1) 総合評価

サービスの提供は行ってはいるが、職員体制の関係で介護保険事業をメインに動いており、実績が大きく向上するほどの対応ができていないが、ニーズのある事業のためより利用しやすいサービスとして定着を図っていく。

(2) 事業の実績

- ・利用者延べ数：73名 前年53名 <+20名>
- ・月別平均利用者数：6名 前年4.4名 <+1.6名>
- ・年間訪問延べ回数：241回 前年216回 <+25回>
- ・月別平均訪問延べ回数：20回 前年18回 <+2回>

Ⅲ 重要な契約に関する事項

当期に契約した重要な契約に関して記載すべき事項はない。

IV 理事会及び評議員会等に関する事項

当期に開催した理事会及び評議員会の開催日及び議案内容は以下のとおりとする。

◇理事会

開催日	議案内容
令和4年 6月 8日	<ul style="list-style-type: none"> ・理事長及び常務理事の業務執行状況の報告について ・令和3年度事業報告書(案)、決算書(案)、公益目的支出計画実施報告書(案)の承認について ・定時評議員会の開催(案)について
令和4年 9月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度上半期実績見通しについて ・臨時職員等の賃金の改定について ・職員給与規程(加算手当)の一部改正(案)について
令和4年12月 7日	<ul style="list-style-type: none"> ・理事長及び常務理事の業務執行状況の報告について ・令和4年度第1次補正予算(案)について ・臨時評議員会の開催(案)について
令和5年 3月 8日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度第2次補正予算(案)について ・令和5年度事業計画書及び当初予算書(案)について ・第2回臨時評議員会の開催(案)について

◇評議員会

開催日	議案内容
令和4年 6月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・理事長及び常務理事の業務執行状況の報告について ・令和3年度事業報告書、公益目的支出計画実施報告書について ・令和3年度決算書類の承認について
令和4年12月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・理事長及び常務理事の業務執行状況の報告について ・令和4年度第1次補正予算書(案)の承認について
令和5年 3月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度第2次補正予算書(案)の承認について ・令和5年度事業計画書及び当初予算書(案)の承認について

◇会計及び業務監査

開催日	内容
令和 4年 6月 3日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度会計及び業務監査並びに公益目的支出計画実施報告書に関する監査

V 収支及び正味財産増減の状況並びに財産状態の推移

平成24年10月1日より公益法人会計基準（平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会）を採用している。

(単位:千円)

事業年度	平成31年 3月期	令和2年 3月期	令和3年 3月期	令和4年 3月期	令和5年 3月期
前期繰越収支差額	4,836	11,288	15,638	19,212	25,404
当期収入合計	153,438	153,040	148,535	139,789	128,769
当期支出合計	146,987	148,690	144,961	133,598	129,112
当期収支差額	6,451	4,350	3,574	6,191	△342
次期繰越収支差額	11,288	15,638	19,212	25,404	25,061
資産合計	144,435	152,151	151,275	154,735	156,683
負債合計	85,390	96,446	90,775	86,032	87,032
正味財産	59,045	55,705	60,500	68,703	69,651

VI 法人の課題等

ここ数年必要な職員の確保に苦戦をしている状況であり、従来の採用方法に加え新たな採用方法も検討、取り入れていく必要がある。

来期以降も予算収益の確保、費用支出の管理に努め、安定経営を行いながら地域で選ばれる法人を目指していくことが求められる。